

令和4年度学校アンケート(学校教育自己診断)の結果について

平素は、本校教育活動にご理解、ご協力いただき誠にありがとうございます。

今年度の学校アンケートのうち、皆さまからいただきました「自由記述」についてご報告いたします。

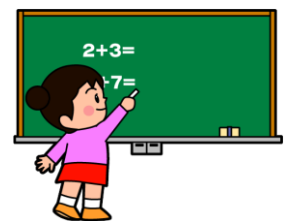
自由記述について

今年も学校運営についてのべ 44のご意見をいただきました。ご意見等の中で同趣旨のものはまとめていますが、すべてのご意見を全職員で共有し、今後の参考とさせていただきます。

まずもって、皆さまからの感謝やお褒めのお言葉を多数いただきました。このようなお言葉で教職員のモチベーションは上がります。心から感謝申し上げます。

1 セキュリティ

ご意見) 日中通りかかった時に校門が開いているのを見かけて心配だ。



回答) ご心配をおかけし申し訳ございません。午前中は校門監視ボランティア、午後
は人材センターより派遣の校門監視員が校門に常駐しており、出入りの便宜上少し校門を開けておく場合
がございます。その他の時間は門を閉鎖し、インターホンでの開錠など職員室からの管理をしっかりと行って
まいります。

2 多様性、性教育、心の教育

ご意見) 学校に行くかどうかも選択する時代であるので、多様性やインクルーシブ教育に力を入れてほし
い。

ご意見) 積極的に性教育をしてほしい。

ご意見) 友達の一言で体調不良になることがある。言葉の重さについて子どもたちに教え考えさせてほし
い。学力向上より思いやりなど心の教育を強く望みたい。

回答) ご指摘のとおりと考えます。現代社会はますます多様性・包摂性を尊重するようになっており、より良
い社会をつくるために学校教育がそのけん引役を務めなければなりません。学校の重点目標には、「自他
の尊重」「仲間と高め合う」を掲げております。保護者のご理解とご協力を得ながら、自らと他者を尊重し
高め合いながら生きる「生・性教育」を視野に入れ、日々の教育活動の幅を広げていきたいと考えます。

3 情報教育

ご意見) iPad の持ち帰りには弊害がある。市が渡している iPad は学校預かりにしてほしい。

回答) 枚方市教育委員会では、iPadは鉛筆やノートと同じ文具の1つと考えております。文具の使い方は学
校から一律に制限するのではなく、ご家庭の考え方を尊重したいと考えます。タブレットの使用状況につ
いて、ご家庭でお子様と一緒にご確認ください。使い過ぎたと感じる場合は、スクリーンタイムで画面を休止

することができます。詳しくは下記のリンクのP4をご覧ください。

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/files/2710042/doc/18531/232397.pdf>

4英語学習

ご意見) ニサイの英語教材 Units of Sound を高学年で入れてほしい。

回答) 今年度試行実施の成果は PTA 運営委員会で概要を報告いたしました。この成果を踏まえ、令和 5 年度より4~6学年で導入を検討しております。しかるべき時期に保護者向けにその内容のご報告をしたいと考えています。

5漢字学習

ご意見) 今年からの漢字習得の順番は国語の教科書通りにしてほしい。漢字ドリルの再検討をお願いしたい。

ご意見) 学年の漢字学習を9月に終了すると聞き、漢字検定を10月に受けることを目標にし合格できた。

回答) 学年配当漢字の前倒し・反復学習については児童にも定着してきたところで、保護者からも肯定的なご意見をいただいています。ご指摘の点や今年度の結果を踏まえ、現在令和 5 年度はどのような教材を使用するかを検討中です。

6宿題

ご意見) 宿題が少ないので家庭学習の時間がほぼ無い。

ご意見) 担任による宿題のチェックで、間違った漢字を子どもに知らせて欲しい。

回答) 宿題には、児童の学力の最低保障の意図があります。一方、本校においては特に高学年になるほど、習い事や塾などに忙しい生活になることがわかっています。またもとより、児童の発達段階に応じた自立を促していくのが学校の役割と自覚しております。

そこで、学校の方針として、一律の宿題を必ずしも良しとせず、より個々の児童に合った「個別最適な学び」を「自立・自律的」に行う方向に舵を切ったところです。学期末の「あゆみ」に加え、単元別・観点別シートをお渡し、保護者と「児童の成果と課題の共有」を充実させていくこともその一環です。

今後は、このような保護者のご意見を大事にしながら、児童の個別課題に対し、「自立・自律」を旨とし、学校で、家庭で、どのように取り組んでいくのが良いか、一緒に考えていく所存です。ぜひ担任にご相談ください。

7図書の時間

ご意見) もう少し図書の時間を多くしてほしい。

回答) 週 29 時間の日常のカリキュラムとしては、週 1 時間の図書の時間を増やすのは難しいところです。一方、本校児童の現状は読書時間が全国平均よりも短く、その確保が課題です。そこで、本に触れる機会を増やす取り組みとして、学級文庫の充実や図書ボランティアによる図書室の「放課後開放」を始めたところです。放課後開放では本を読むことはもちろん、貸し出しと返却も可能です。

8授業の質

ご意見)国語のオンライン授業を見て、授業の質を上げてほしいと感じた。教員の学習指導力の差を少なくするために、教職員で力を合わせてほしい。

ご意見)他のクラスと比べてノートを書くことが少ないなど、学級の学習の内容・量に不安を感じる。個々の先生のオリジナルルールもあり個人の塾に通わせている感覚をもつ。学年で統一するなど管理職がしっかり管理してほしい。

回答)ご指摘の点を重く受け止めています。本校では教員全員で「枚方市授業スタンダード」を実践し、学習指導要領における「主体的・対話的な深い学び」の実現をめざしています。また校内研究では、4年連続で国語科を指定し、「根拠をもって話し、質の高いきき方を通して、新たな発見ができる子どもを育てる」をテーマに不断に授業の改善を行っているところです。

ただ、ここ数年毎年教職員の3割が入れ替わっているのも事実であり、本校の意図する授業の質の維持向上は容易なことではありません。管理職において、教育重点目標に向かって学校・学年で統一すべきところと、教師のオリジナリティを尊重すべきところのバランスを注意深く見ながら、授業の質の向上に努めてまいります。

なお、ノートの記述が少ないというご指摘に関しては、一度ロイロノートの提出BOXのご確認をお願いいたします。児童は、考察作業をロイロノート上で行いそれをクラスメートと共有することが増えています。その分、ノートの記述が少なくなっていることがあります。

9学習のありかた(仕組み)

ご意見)教科の勉強は午前中に固め、午後はその整理や子どもの興味を掘り下げるなど、子どもが主体的に活動する時間にしてほしい。

ご意見)廿日市市立宮園小の自由進度学習の記事を読み、子どもに備わっている自己教育力を活かせる環境をどんどん用意してほしい。

回答)ご意見の趣旨は理解いたしました。現在枚方市は、「個別最適な学び」、「協働的な学び」をめざしているところ、本校でも重点目標として「自ら学び、自他を尊重し、仲間と高めあえる子の育成」を掲げています。ご意見と方向性は同じと考えますので、徐々に近づくよう努めてまいります。

10整理整頓清掃、環境

ご意見)家庭科室の前の風呂釜の水たまりが夏に蚊の繁殖に繋がる。脚立など置いている場所が整理整頓されていない。

回答)ご心配をおかけし申し訳ありません。この水槽は、理科室の水槽で使う水をつくるパイロットフィッシュを飼うためのものです。水道水には魚が生きていくためのバクテリアが少なく、比較的生命力の強いパイロットフィッシュによって、水を良い状態にしています。

機材の整理整頓ができていないことについては反省しています。今後徐々に整理し状態を整えてまいります。(1月、保護者のご協力で整理整頓をしていただきました。感謝申し上げます。)

ご意見)トイレが汚いと聞く。家庭でもしているが、学校でも指導してほしい。

回答)トイレの美化については、教職員の日々の指導はじめ児童同士の啓発など全校挙げて取り組んでおります。徐々に成果が出てきたところではありますが、まだまだ十分ではなく、ご心配をおかけし申し訳ありま

せん。現状、以前よりも改善されていますが、毎日以下のことが起きています。

- ① おしっこが便器のふた、便座、床の上にたれ流されている。
- ② トイレトペーパーがロールごと落ちている。切れはしが散乱している。
- ③ 使用后、大小便が残されている。

トイレをきれいに使うことは、学校で皆が安心して使うためのマナーであると同時に、公共の場やともだちの家などで児童が迷惑をかけないために、重要なことです。望ましい行動は、

- ① 個室では、座って尿が便器からはみ出さないように用をたす。
- ② トイレトペーパーは無駄にせず、適量とってきれいに切る。
- ③ 用をたし終えたら、ウンチは大、おしっこなら小のレバーを回して(ボタンを押して)水を流す。

そんなの当たり前と思いがちですが、ご家庭によっては自動で水が流れるところもあるでしょう。お子様が理解しているか、今一度ご確認下さるとありがたく思います。学校では、正しく使えたときに「いつもキレイに使ってくれてありがとう」と声をかけたいと思っています。

ご意見) 学校を楽しくモチベーションの上がる場所とするために、施設の改修・建て替えを早く行ってほしい。

回答) 建設から 60 年が経過し、トイレや手すりなど部分的に改修が行われておりますが、全体的には古さが目立ちます。一方、財政的な要因で全国的に校舎の長寿命化をはかっているのが現状です。建て替えの順番がくるまでは、安全にかかわるところなど優先順位の高いところから改修要望を出してまいります。

11 学校行事

ご意見) コロナ禍だが学校行事はフルに行ってほしい。

ご意見) 運動会の内容を充実させるとともに、マラソン大会を復活してほしい。

ご意見) コロナによる縛りを積極的に解除し、子どもが自然に交流し楽しめるよう努めてほしい。

回答) 行事含めコロナ禍の教育活動には市で統一した制約がありますが、世間の情勢を踏まえ徐々に緩和しているところです。制約がある中ではありますが、今後も最大の教育効果を出せるよう努めてまいります。

運動会は午前中開催、駅伝大会は陸上大会との集約開催など、コロナをきっかけに様々な見直しが行われたところで、保護者からも肯定的なご意見をいただいています。今後も保護者・地域の様々なご意見を踏まえて学校を運営してまいります。

12 学級経営、教員の指導

ご意見) 大きな声で叱る、廊下に立たせるなどの罰や恐怖で指導・支配することのない教育環境が望ましい。

ご意見) 教員は、子どもの話を聞き、正しく評価し、頑張りを認めてほしい。

ご意見) 子どもの尊厳を大切に、大人がその可能性の妨げにならないよう常に意識してほしい。子どもの存在と意見を尊重するという点は、五常小全体で努力してほしい。

ご意見) 性別関係なく、適切な対応をしてほしい。

ご意見) 子どもの権利について、教職員対象アンケートで理解度を計測してほしい。子どもの権利について、保護者や地域に対し積極的に啓発し、子どもにとって安全・安心な環境をつくってほしい。

回答)これらのご意見は、子どもの基本的な人権を国際的に保障する「子どもの権利条約」4 原則にうたわれていることであり、全く賛同いたします。これらを実現するため学校でも注意深く見ていきますが、具体的にご指摘をいただけるとありがたいと存じます。担任もしくは管理職(教頭・校長)までお知らせください。校長に直接提言・意見を出すのは、五常小ブログからも可能です。

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710042>

ブログ画面 → 左欄のカテゴリ → 校長への提言・意見 をタップ → ID・PWを入力
(ID・PWはたびたびメールでお知らせしています)

本件の他、学校運営等に何かご意見がありましたら、ぜひ「学校ブログ提言・意見コーナー」よりお聞かせください。

13しつけ

ご意見)あいさつや礼儀作法の大切さを今一度教えてほしい。

回答)あいさつや礼儀作法は、本校の重点目標である、「自他を尊重し、仲間と高めあう」ことにつながります。ご家庭とともに、折に触れその大切さを説いてまいります。

14情報発信

ご意見)担任の先生の思いや意図が伝わりにくい。先生の負担の無い範囲で、毎日のクラスルームの配信に一行だけでも学級や授業の様子を記すなど、学級での様子を保護者に提示してほしい。

ご意見)学校ブログを一層充実してほしい。

ご意見)学校配布の手紙が子どものタブレットからしか見られないのが不便だ。

回答)頻度・量・内容・方式等学級からの通信のありかたについては、各学級の課題等状況が異なることから担任の裁量に任せています。一方、保護者のご意見を踏まえることも大切ですので、各担任には保護者のニーズをくみ取った情報発信の大切さについて説いてまいります。

学校ブログをご覧いただきありがとうございます。ご期待に沿えるよう、一層奮起しブログを充実してまいります。

紙配布の全面的な見直しについてご理解を賜うことができればありがたく存じます。Classroom に配信するお手紙については、手持ちの PC やスマホからもご覧になれます。アプリ(無料)をダウンロードし、お子様の ID と PW をご入力ください。

15メール

ご意見)大事なことを見逃してしまうので、毎日ブログを更新しているならばメールでは本当に重要な事のみ送ってほしい。ブログなどの PR をメールでするのはやめてほしい。

回答)ご不快な思いをさせてしまい申し訳ありません。保護者へ速報、学校だより等大事なお手紙の通知のお知らせのほか、まとめて更新した際にブログのお知らせをしております。学校でのお子様方の様子をできる限りお伝えしたいという趣旨ですが、今後は過剰にならないよう留意いたします。

15保護者への対応

ご意見)保護者の意見が担任に伝わっているのか、疑問に思うことがある。

回答) 不審感をお持ちになったことについてお詫び申し上げます。具体的な指摘事項について、担任もしくは管理職(教頭・校長)までお知らせください。

校長に直接提言・意見を出すのは、五常小ブログからも可能です。

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710042>

ブログ画面 → 左欄のカテゴリ → 校長への提言・意見 をタップ → ID・PWを入力
(ID・PWはたびたびミルメールでお知らせしています)

16電話対応時間

ご意見) 電話対応時間の制約で問い合わせができずあきらめることがある。先生方の負担を増やさない方法で、問い合わせ可能な手段があれば良い。

回答) 五常小ブログの「校長への提言・意見」コーナーならば、24 時間いつでも投稿が可能です。勤務時間内でできるだけ早くに担任に伝えます。時間を指定してくだされば、その時間に担任から電話することも可能です。連絡は下記リンクから→

<https://hirakata.schoolweb.ne.jp/weblog/index.php?id=2710042>

ブログ画面 → 左欄のカテゴリ → 校長への提言・意見 をタップ → ID・PWを入力
(ID・PWはたびたびミルメールでお知らせしています)

17不登校相談

ご意見) 不登校について学校が色々な相談に乗り行動したことには感謝しているが、できれば相談員が常駐してほしい。

回答) 相談員の常駐には市教委の制度の構築を待たなければなりません。担任、養護教諭、支援学級コーディネーター、管理職はじめ、学校挙げて支援してまいります。

18教職員の数、人材配置

ご意見) 支援学級は児童の人数で担任の数を決めるのではなく、児童の障がいの内容で決めてほしい。

ご意見) クラスの人数が多く先生の目が子どもに届いていない。高学年になれば学級あたりの児童数を少なくしてほしい。

ご意見) 途中で支援学校に転入できる選択肢があると良い。

ご意見) 毎年通常学級、支援学級の担任が変わるのがしんどい。

回答) 1クラスの児童数は、国基準と枚方市基準があります。支援学級においては障がいの種別ごとに 8人/クラス、通常学級においては35~40 人/クラスと決められており、学校で独自に適用することはできませんが、学校総体での運営を心がけてまいります。例えば、学年の児童は学年の担任団全員で、支援学級の児童は支援担任団全員で見守っています。また、必要に応じ学年や通常・支援学級、担任外教師、管理職の枠を越えて機動的に運用していくことで、児童を見守る教職員を増やしてまいります。

19教職員への励まし

ご意見) 1 年生で毎日充実した学校生活を送り安心している。担任の先生は子どもをよくみてくれて、連絡

帳の返信も丁寧だ。このような対応が先生への信頼感につながる。担任の先生に恵まれ、心身ともに健康な小学校生活を始めることができ感謝している。

ご意見) 既存の概念から脱却し、ランドセルでなくても良い、冬の体育で長ズボンを履いても良い、夏の登下校や運動会で熱中症予防グッズを使用しても良い等、時代に沿った対応がとても良い。

ご意見) 学校は熱心に教育に取り組んでおり、ブログなどで様子もよくわかる。

回答) 励ましのお言葉ありがとうございます。

今後も本校のスローガン「毎日楽しい学校」=「安全・安心な学校」、「児童の能力を伸ばす学校」という児童・保護者にとっての最善を追求するとともに、それができる体制づくりに取り組んでまいります。